

平成 30 年度 9 月開催民間社会福祉施設職員合宿研修会実施要綱

1 目 的

民間の障害者等施設で障害者等への対応に従事している中堅職員に対し、必要な専門知識、技術を修得させるとともに、参加者相互の交流により、職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 主 催 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター
〔公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業〕

3 後 援 厚生労働省（予定）

4 実施期間 平成 30 年 9 月 4 日（火）～9 月 7 日（金）までの 4 日間

5 研修会場 ホテルルポール麹町
東京都千代田区平河町 2-4-3 電話 03-3265-5361（代）
（交通）地下鉄有楽町線「麹町駅」下車 徒歩 3 分
（JR 山手線有楽町駅乗り換え）

6 宿泊場所 上記に同じ

7 受講者の資格

民間（公設民営を含む）の障害者等施設において、障害者等への対応に直接従事する生活支援員・介護職員等で、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- （1）社会福祉施設における業務経験が通算して 3 年以上で、かつ、当研修受講後も引き続きその施設に勤務する意思のある者
- （2）当研修に参加したことのない者
- （3）研修開催期間において、研修会場に宿泊できる者（2 人部屋または 3 人部屋）

8 受講定員 50 人

9 受講希望者の推薦

受講希望者にかかる都道府県・指定都市の推薦は、「平成 30 年度 9 月開催民間社会福祉施設職員合宿研修会受講者推薦書」（別紙様式）の提出によるものとする。

1 0 受講者の選考

次の選考基準により受講者を選考する。

【選考基準】

- (1) 都道府県・政令指定都市の推薦者のうち各 1 名
ただし、推薦のあった都道府県・政令指定都市の優先順位 1 位の推薦者の合計が定員を超える場合は、基準の (3) 以降により選考する。
- (2) 都道府県・政令指定都市の推薦者のうち優先順位 2 位の者を、基準の (3) 以降により選考する。(優先順位 3 位以下の者も同様に選考する)
- (3) 当研修に参加したことのない社会福祉施設の者
- (4) 利用者人数の多い社会福祉施設の者
- (5) 社会福祉施設における業務経験の長い者

1 1 研修費用等

研修にかかる研修費(含むテキスト代)、旅費、宿泊費、食費は当センターが負担する。

(1) 旅 費

当センターの旅費規程に基づいた金額を指定の口座へ振込むものとする。

※受講者自宅所在地の最寄り駅から研修会場までの実費(領収書の提出)

(2) 宿泊費

研修期間内の宿泊は、当センターが手配する。

(3) 食費

研修初日の懇談会費及び研修 2 日目から 4 日目までの朝食及び昼食は、当センターが手配する。

1 2 研修内容

研修科目及び時間(予定)

科 目	時間	科 目	時間
障害者福祉行政の動向	1 時間 30 分	行動援護とアセスメント	2 時間 00 分
特別講義	1 時間 30 分	地域生活支援	3 時間 00 分
レクリエーション実技ー地域資源を活用した余暇支援ー	3 時間 00 分	チームアプローチの強化とスーパービジョン	4 時間 00 分
障害者の理解と自立支援	2 時間 00 分	個別支援計画に関する講義と演習	4 時間 30 分
		8 科目	21 時間 30 分

1 3 事前課題の提出

「個別支援計画に関する講義と演習」では、自身が担当している利用者について、個別支援計画の作成につながるニーズ整理の演習を予定している。このため受講希望者は、演習の題材として、自身が担当する利用者のアセスメントシート(「参考様式」による)を作成し、推薦書と同時に提出すること。

1.4 レポートの提出

- (1) レポートのテーマは、研修期間中に当センターが提示する。
- (2) 受講者は、研修終了後、当センターが指定する期日までにレポートを提出すること。
- (3) 提出されたレポートは、報告書としてまとめ、関係機関に配付する。なお、併せて、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団のホームページに掲載する。

1.5 フォローアップアンケートの提出

- (1) 研修内容が実際の現場でどのように役立っているか調査するため、研修終了後年度内にフォローアップアンケートを送付する。
- (2) 受講者は、当センターが指定する期日までに当該アンケートを提出すること。

